

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE新築(簡易版)2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレサンスロジェ和泉中央 新	階数	地上11F
建設地	大阪府和泉市のぞみ野2丁目481番	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	356 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2014年10月31日
敷地面積	3,530 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	1,041 m ²	確認日	2014年11月17日
延床面積	7,334 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 沿道に極力緑地空間を設けることで周辺環境、景観にも配慮し、全体の演出を図った。	その他 周辺環境への配慮に重点を置いている。	
Q1 室内環境 室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を使用している。	Q2 サービス性能 劣化対策等級3など、耐久性に優れている。	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地の周りに緑地を配置し、良好な住環境の形成に配慮した。
LR1 エネルギー ecoジョーズ等の採用により、設備システムの効率化に重点を置いている。	LR2 資源・マテリアル 有害物質を含まない建材種別を採用している。	LR3 敷地外環境 周辺環境への配慮に重点を置いている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	(仮称)プレサンスロジエ和泉中央 新築工事		
	建設地	大阪府和泉市のぞみ野町2丁目481番6		
	用途/区分	集合住宅		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			3
	省エネ対策			4
	みどり・ヒート アイランド対策			3
	エネルギー消費量の報告			対象外

【評価項目】					
省エネルギー対策		① CO2削減			
		② 省エネ対策			
	項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価		3.1	3
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体	3.0	4
			住戸・宿泊	3.0	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		5.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		4.8	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		—	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		2.2	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	—	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策			
	項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価		2.0	3
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価		3.0	
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価		3.0	
その他					
先進的技術の導入	技術の名称		考慮事項		
特に配慮した事項					